

**【2020年代にかけて EU やサウジ、イスラエル、韓国  
そして日本からも米軍は撤退していく】**

⇒編集後記で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

**【相場の「天井」を捉える大衆が知らない極秘戦略とは？】**

**(サイクル理論の発展です！)**

[http://fxgod.net/pdf/fx\\_tenjou\\_get.pdf](http://fxgod.net/pdf/fx_tenjou_get.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**どうもゆうです！**

**読者さん、こんにちは。**

**さて、前号にて**

**【なんと、アメリカ民主党内からも共和党トランプの  
米軍撤退を支持する議員が現れてきた】**

**という号を流しました！！**

**結構重要なアメリカ政界の動きなので、**

**一応 PDF にもしています。**

**PDF 【なんと、アメリカ民主党内からも共和党トランプの  
米軍撤退を支持する議員が現れてきた】**

**[http://fxgod.net/pdf/minshu\\_loves\\_trump.pdf](http://fxgod.net/pdf/minshu_loves_trump.pdf)**

**それでまあ驚きますよね。**

**今までトランプ批判の最先鋒だったのが**

アメリカ民主党だったわけですが

ここで「私は（民主党だけでも）トランプのやった米軍のシリア撤退は  
支持する」

と言い出してる人間が大統領候補者で出てきたと。

だから2020年のアメリカ大統領選挙は

変な選挙になりそうですよね。

2020年代に共和党はトランプ中心に今までの米軍を撤退させてきた

実績や株高をアピールしそうだけど

そこで民主党は「私たちも米軍撤退の方向性で頑張っていく」

と共和党と同じ政策を言い出す候補者が結構出てくると。

こうなると2020年代の選挙はやはり共和党のトランプが制す

確率が非常に高いとなりますよね。

(有権者のアメリカ人たちは特に民主党の議員が  
反軍産複合体を打ち出しても今までの歴史があるから  
民主党議員の鞍替えを恐れることでしょうかから。

それなら実績あるちゃんと戦ったトランプを再選させよう  
という心理は2020年代に働く。)

それで、日本のメディアなんか見ても私のメルマガで2016年から

「これから在韓米軍と在日米軍関係の撤退話が出てくる」

と書いてたように今はその関係の報道がかなり出てきてると

思います。

それで日本のマスコミの立ち位置は？というとはっきり言うと

軍産官僚側なんですね。

米軍がいることで官僚が政治家の上に立って

アメリカの代理人としてかなり力を行使できる環境だったのが

日本政治の特質ですが

そこでやはり世界で稀に見る公務員天国なんかも維持されていましたが

そろそろこれに変化が2020年代に現れていく可能性は

高いといえますね。

最近の若い人たちなんかはその流れを敏感に感じ取ってしまってる

人も増えてる。

それで、これからですが中東から米軍撤退する流れは

ほぼ既定事項。

そして次はEUや極東から米軍撤退の流れがトランプ政権前期の

中の後半の2019年～2020年代の動きの主となるわけです。

これはあまりに現在の官僚や公務員、および

米軍がいることで利権を得る人たちに

不都合な話なので マスコミでは報道されないけども

やはり彼らは長期で駆逐されるし、

この流れには逆らえない。

編集後記で！



=====**編集後記**=====

さて、前号で

「アメリカ民主党からもトランプの米軍撤退を支持する人たちが

出てきた」

って話を扱いました。

これはシリア撤退という歴史的偉業をうけて、

アメリカに出てきた新しい

政治パワーダイナミズムの変化ですね。

また読んでない方はぜひPDFで読んでみてくださいね～



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【なんと、アメリカ民主党内からも共和党トランプの  
米軍撤退を支持する議員が現れてきた】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/minshu\\_loves\\_trump.pdf](http://fxgod.net/pdf/minshu_loves_trump.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それでこれから2020年代にかけてどんどん起きてくる

現象がもうほぼ決定したといえまして、

それが

「イスラエルからもサウジアラビアからも

そしてEU および韓国日本からも米軍が撤退していく」

ってことです。

ちなみに今までってのは世界の多くで

アメリカの同盟国というのがあって

その同盟国には米軍が駐留していたわけですね。

これは日本の沖縄の人ならよく分かる。

また沖縄以外でも日本には米軍が多いから

米軍基地の近くで

飛行機が轟音なって きつよいよ～なんて住民の人も

これ良く分かる。

それでどの国でもこの米軍問題ってのはあったのだけど、

これはどんどん世界から米軍が撤退していく流れが

~~~~~

これから加速する、

~~~~~

のですね。

もうこれは 嫌だ、そんなの嫌だ、と

米軍がいることで利権を得てきた人たちがごねても

大きな世界の流れ、ダイナミズム、強烈なトレンド転換であるから

これは変えられない流れです。

それをダイナミズムとか言ったりする。

それでこのダイナミズムを早々捉えたのが

実は本当は日本だった。

日本では2009年に民衆が小沢鳩山を誕生させたけど

無残にも彼らは負けましたがその点で責任あるけど

ただ日本人はやはり文字識字率も高いこともあって

どの国よりも早く動こうとしたけど、

早く動きすぎてつぶされたわけですが

(具体的には東京地検なんかはどうしようもない

恣意的捜査をした。結局陸山会の問題は

小沢は無罪だったけど、小沢の政治生命は官僚たちに

奪われた。官僚たちは田中角栄のロッキード以降、

2連勝した。)

ただしばらくして本国アメリカから

トランプ大統領が出てきて、

今回は 実質アメリカ主導でどうも日本だけではなく

韓国からも、そしてEUからも 中東からも

米軍が撤退していきます。

それでトランプ大統領は「同盟国」というのが

要するにそこで軍産官僚の利権が うずまいてる国だ、

と把握してるはずで

だからこれから「同盟国」を振り落としていきます。

同盟国に無茶難題を突きつけていき

自立を促すと思われませぬ。

これは以前「日本にトランプは無理難題を押し付けていく」

と書きましたが

その通りになってませぬかね。

これからもっと激しくなります。トランプはハッスルする。

それで今その同盟諸国の振り落としてトランプに

ターゲッティングされてるのがイスラエルで

このイスラエルからもなんと米軍が撤退していく。

民主党のエリザベスウォーレンは

まさに「イスラエルに米軍がいるべきだ派」だったのだけど

軍産官僚たちからしたらそのエリザベスウォーレンが今回

裏切って

「トランプの米軍撤退を支持するわ」となって

大慌てとなっておりますね。

ちなみに主張として

「イスラエルがテロと戦うべきだ」ってのが

軍産側の主張なんだけど

一方これから「パレスチナ人を弾圧する

イスラエルとは距離おくべき」

って言う主張が米政界で強くなります。

それでこれはドイツなんかだと言ってしまうと

危険な話だけどホ,ロコーストだったり死海古文書の話とか

あるけど

これらも議論の対象になっていきますね、これから。

「言っちゃいけないこと」から「議論対象」になっていく。

それで結局イスラエルなんかはアメリカに頼ることはできなくなる

わけで

イスラエル軍産も今は弱いですから

これからイスラエルってのはロシアに頼る傾向が強くなると。

またサウジアラビアも以前書いたけどアメリカ覇権から

ロシアに頼る傾向が強くなります。



ちなみにこんな国際ダイナミズムがあるわけですから

よく投資家に話が入ってくる油田投資なんかは

華麗にスルーしたほうが良いでしょう。

これからは天然ガスの時代です、エネルギーは。

油田投資なんかするくらいなら

私個人ならロシアの天然ガス関係にお金投げたほうが

長期で儲かると判断します。

それでトランプ大統領はやはり怖いくらい戦略家で

日本では 何をするか分からない予測不可能とか言われてるけど

あの人ってめちゃくちゃ頭良いんですよ。

幼少期のころから NW,,0 の危険性を調べていた人ですから。

私のオーストラリア人の友達に彼とそっくりで

彼と発言がめちゃくちゃ似てる人がいるのだけど

感覚的にだから分かるんだけど

めっちゃ頭いいんです。

んで彼の場合米軍撤退させるためにどうも彼の分析すると

イスラエルとサウジアラビアくっつけてしまって

彼らにロシアとくっつけて独自和平をさせようとしてるわけですから

そこで「じゃあアメリカがイスラエルの安全保障する必要ないよね」

っていう世論になるように誘導してるんですよ。

だから中東からやはり米軍は撤退していくんです。

シリア、アフガン、イスラエル、サウジアラビアと

米軍は撤退していき、

管理は中国ロシアになっていく。

(人民元、ルーブル、および人民元とペッグされつつある

金地金が長期で強くなる。

ロシアの天然ガス関係の投資が比較的検討対象だ、と

上に書いたのはルーブル建てだからですね)

それで前に号に書いたけど、トランプの米軍撤退戦略は

以前のオバマの撤退戦略を引き継いでるものなんだけど

オバマのころはどうしても ヒラリーが横にいて邪魔されて

中東荒らされて米軍撤退できませんでしたが

(が、オバマの評価されるべきは米軍を新規では出さなかった)

トランプがついに撤退にこぎつけた、と。

トランプは実際はオバマの後継者であるけど

これはさすがに問題があるから

一応敵対するような 表向きは見せてるってことですね！

あの二人が実際対峙すると 謎に笑っているわけで

それはトランプの大統領就任式では英語圏で放送されたんだけど

これを見て多くの人が

「あれ？トランプってオバマをディスってたよね？」と謎だった

わけだけど、

その意味は今みんな分かる。

ちなみに、この見方ってのは私の見方というよりは

どうもイスラエルの軍事関係者は

明確に「トランプはオバマの後継である」と冷静に分析してる

わけですね。

それでとりあえず「最も複雑な大変な中東からの  
米軍撤退」が

今年あたりにひと段落しそうです。

そうなるとトランプの政治の仕掛けの中心は

世界の火薬庫 1 中東 2 極東 の2 極東に

移るわけですね。

あとは火薬庫ではないけど欧州にも米軍いるから

ヨーロッパからも米軍出て行くことになる。

ちなみに私ゆうは英語で話した人で欧州人が結構多かったけど

やはりドイツとかオランダとかノルウェーとか

その辺の人たちは

「なんで米軍がいるのか意味分らない」と

よく言うんですね。

だから英語なんかでも日本人は英語のアクセントで

アメリカのアクセントがかっこいい、と思うわけです。

けど欧州の人はアメリカのアクセントが嫌いな人多くて

なるべくイギリスのアクセントを真似するんだけど

もし欧州の人に「あなたの英語はアメリカのアクセントで

発音いいですね」とか言ったら結構怒られます。

私は経験したことがあります。

結構男の人だとガチ切れしてくる人もいる。

「何？おれの英語が American accent だと??」

みたいな感じで。

フランス人に私は怒られたことがあるんだ。

そこからやはり欧州人が持つアメリカに対する

感情はなんとなく理解したものです。

それで、やはり欧州からも米軍出て行けって人は

多いから米軍出て行く。

具体的にはトランプがおそらくプーチンのロシアと

INF条約（中距離核戦力全廃条約）であえて揉めるんですが

（注：けど二人は仲良し。すなわち演技。）

ここでそれぞれ、戦ってるそぶりを見せるんですね。

プーチンは「アメリカはけしからん」と言って

トランプはまたロシアに色々言うという

演技です。

これは朝鮮半島情勢で見られた



「トランプ劇場」です。

それでここで米国とロシアの間で核兵器対立が

激化して、

そこでマスコミは核戦争だ〜とかあおるかもしれませんが

実際はそんなの起こりえませんが（二人とも演技だから）

これは実際は 欧州 EU が対米自立するための策なんですね。

こうやってアメリカとロシアが対立を装うんだけど

ここで欧州 EU としては

「もう今までのアメリカに従属する姿勢や

NATO から距離置こう」となる。

だからその代わりに今まで対米自立できなかったので

進まなかった EU 軍事統合が進むんです。

それで、EU 軍事統合が進むにつれ、米軍いらなくなって

なるんだけど

そこでトランプは欧州から米軍撤退のシナリオに

つなげられるわけで

それを考えてトランプは INF 条約離脱を言い出してるんですね～

頭いいと思いませんか？

けどトランプはこういう交渉術をずっと

使って不動産事業で兆の資産を作ってきたとわかるので

これはビジネスや投資の勉強にもなる。

彼くらいずる賢くないと稼げないってことです。

勝つためにずる賢さを肯定するマキャベリズムを

素で行くのがトランプですね。

それで極東アジアでは??っていうと

韓国と北朝鮮の和解が加速します。2019年も。

韓国としても北朝鮮としても両者の和解が最優先事項ですから

そのためには

日本を敵に回すようなことをしてでも

それをしていくでしょう。

軍産を追い出すのが先手、と考える。

それでトランプは実際はこの南北の動きの

背後におりますから

(が、具体的に戦略スキームを作ってるのは

キッシンジャー博士であるでしょう)

そこで在韓米軍が不必要だ、という世論作って

そしてそれが出てきたら

アメリカが韓国に喧嘩売るんだけど、

そこで韓国では世論的に

「在韓米軍に出て行ってほしい」ってなるんです。

そしてそれに遅れて、在日米軍撤退議論、となりますね。

ちなみに安倍首相はおそらくけど

対米自立しないといけない、というのはもう知ってますから

ここでロシアと和解を早くとなってますね。

それでこれからアメリカ民主党が

今までの「軍産の手下としてのトランプ敵視」から

徐々に

「軍産から自立していき、トランプの米軍撤退は支持」

となっていく可能性があるわけですが

そうすると 米軍駐留で利益を得ていた軍産の居場所が

徐々に減っていくわけです。

そして中東リビアやアフガンからの米軍撤退を皮切りに

イスラエル、サウジアラビアなんかの撤退も進んでいくし

そして同時進行的に EU からの米軍撤退は進んで

さらに韓国と日本からの米軍撤退も進んでいく

という未来に 2020 年代は収束されていく確率が

極めて高いと言えますね！

それで今までの経済の米ドルの強さと

政治の米軍駐留というのは相関性を持つてるのですが

ここで米軍駐留数が世界的に減少していくことが

これから起こってくる事であるといえまして、

そうなるとドル決済を取る国も商品も減ってきますから

そうなると 世界基軸通貨としてのドルってのは

その座をまた違う通貨なり商品に、

米軍撤退とともに明け渡していくってことですね。

人民元やルーブルや金地金（人民元とペッグしだしてる）

なんかは

逆にこれから覇権力をあげていくと見られます。

誰もこれ嫌われるから言わないけど

私は投資家なんで好き嫌いで見ないので

そう見てます。

ただもちろん米ドルは一時的に政治的に引きあがったり

暴落したりはあるだろうけど

長期的にはきつそうだな、ってことですよね。

なので長期で5年10年で

米ドル資産を持つのは結構リスクをはらむと言えまして

長期投資でも米国株はポートフォリオを小さめにする必要性は

高いと私は考えますし、

ましては米国不動産とか米国系の資産はちょっと・・・

と私は考えてますね。

まあもちろんそういうのに投資してる日本人は多いから

あくまでも私の考え方ですが、

ただ2020年代には上に書かれてるシナリオが



大多数実現していく可能性が極めて高いと見ますね。

一方、今まで経済発展できなかった地域、

アジアで分かりやすいのはフィリピンとかインドネシアとか

なんかがそうですが

そういうアジア新興国はどんどんこれからかっつけていきますし

中国人の爆買いだけじゃなくて

イスラム圏で今までは貧しかったけど

成金になった人が日本に来て爆買いしたり観光したりする現場も

ちよくちよく見るようになると思います。

最近、アジア各国で以前よりもマレーシアなんかでよくみる

ヒジャブをかぶって歩くイスラムの人が増えてるけど

これからも中東なり東南アジアのイスラムの人で

豊かな人は増えますね。

それで今まではアメリカ含む先進国で

「消費する役割」を担っていたのだけど

これからはどちらかという消費の中心は

まずアジア、その次中東や南米、そして更に次の時代は

アフリカ地域となりますので

私含め、彼ら有色人種が消費の中心を担うことになりますね。

そこで当然「中間層を作り出す」ことが必要なので

まさに今政治でその下準備をトランプがしてるわけです。

非常に大きな考え方が働いてるのが分かりますが

帝国ではこういうこと考える人間が結構いるんですけど

私たち日本人もやはりある程度は理解しておいたほうが

人生生きやすくなります。

それでその際に中間層創出では、

大企業中心では限界がありますから

やはり中間層では 自営業なりの事業者中心の

中間層を作っていくという思想がキッシンジャーにありますので

やはり個人で事業を持つ人たちが増えるってのが

大事になるんですね。

台湾・韓国なんかではそういう人が極めて多い。

それで、日本ではAI=脅威のストーリーで語られるけど

これは実は政治の話で

実際はAIっていうのは個人でも作れるようになってるし

大企業のAIより強いものを個人で作れるってのが

本当のAIの面白いところなんですね。

だから実は事業者たちがこれからAIを作っていく

生産性をそれぞれの事業で高めていくってのが

本来の未来の姿で実際に新興アジア国ではそれが

当たり前になるでしょうし

今、その兆候は現れてます。

具体的には AI ロボットみたいのだったり

接客ロボットを中小事業者たちがどんどん導入してる。

以前に私が作った CM がありますが

あの CM 実は私が AI なんかも絡むプログラムで

自分で野田さんのスクールのよさを知ってほしくて

作ったものなんです。

<http://yuhfx1.com/video/nodashiki3.mp4>

個人でもあんな CM を簡単に作れる時代ですけど、

これからは個人が AI なりを活用してどんどん

事業に使う時代になりますね。

これは実は韓国なんかでは当たり前の考え方になっています。

だから日本ではよく「AIは脅威だ」というストーリーが  
語られるけど

それは大企業と公務員支配が進んだ国の悲しいプロパガンダであって

実際は AI とかかってのは個人が事業なり投資に活用して

そして利益を計上していく武器

になりますね。

だから、これからは各国で中小くらいの事業者たちが

AIなりを活用して経済活動するってのが当たり前になってきまして

アジア、中東、南米、そしてアフリカ地域で

中間層が事業者中心にどんどん現れていく時代になっていきますね。

その前段階として、まずは帝国の米軍撤退が

これから実行されていくということです。

この大きな政治ダイナミズムってのは沢山

分析や勉強や学問していくと見えてくるんだけど

それが見えているとこれからの人生戦略は立てやすいですね！

それでは！

ゆう

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

## PDFレポート

**【相場の「天井」を捉える大衆が知らない極秘戦略とは？】**

**(サイクル理論の発展です！)**

[http://fxgod.net/pdf/fx\\_tenjou\\_get.pdf](http://fxgod.net/pdf/fx_tenjou_get.pdf)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆